

## しのばず自然観察会より 2024-7 2024.07.04

### 2024年7月の活動 不忍池 定点観察 7月14日(日)



集合:午前10時 不忍池 蓮池南西端  
緑の小旗あり(野外ステージ西側、  
湯島天神下交差点寄り)

今回は雨天中止

持物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具  
(マスク、敷物、昼食)

解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚  
参加費不要 非会員の参加も歓迎

**8月の不忍池定点観察は、11日(日)の予定です。**

### 不忍池定点観察 2024年6月9日(日)より

確認した鳥:カルガモ、カワウ、アオサギ、コサギ、カイツブリ、ムクドリ、シジュウカラ、ツバメ、ドバト、スズメ、ハシブトガラス、ウミネコ(小川潔)

開花・結実:オオイヌノフグリ?雑種タンポポ、ノゲシ、ウラジロチチコグサ、ヒメジョオン、キンシバイ、カタバミ、イモカタバミ、ムラサキカタバミ、ユウゲシヨウ、アメリカフウロ、ヒルガオ?マメゲンバイナズナ、ヘラオオバコ、ギンギシ、アレチギンギシ?キツネノポタン、ドクダミ、キョウチクトウ(薄桃色花)、ハギ、ハンゲシヨウ、ネズミモチ、カヤ、シロツメクサ、ツメクサ、シマスズメノヒエ、ミコシガヤ、ネジバナ、ニワゼキシヨウ(小川潔、小川千恵子)



ニワゼキシヨウの花

\*マメゲンバイナズナ:前号で「ヅ」としましたが、「日本維管束植物目録」で和名を確かめ、「ズ」に訂正しました。多摩川の自然を守る会・柴田秀久さん、ご指摘ありがとうございました。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円

\*\*2023年以前の会費未納の方もお忘れなく!退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*

## 50年史に会内外16名から原稿をいただきました

しのぼず自然観察会創立50周年記念誌の「私と上野公園・私としのぼず自然観察会」欄に、会内外の16名から原稿をいただきました。ありがとうございました。他の5名からの寄稿を除く他の原稿は小川潔が書きましたが、取捨選択も必要かと思います。編集(原稿・写真を読む、追加や取捨選択、レイアウトなど)に協力していただける方は、小川までご連絡ください。

### 2024年6月9日(曇り)の観察会から 小川千恵子

9:08 鳩が少ない。浮き橋手すりに4羽のみ。カワウが1羽、ひっくり返したボートの横のくいの上に翼を広げて南を向いて立つ。全身の色が薄く、翼がまるで黒いウロコ模様が付いているように見える。ボートの上はカメ2匹。

数箇所の方の筏のアシの中に白や紫色のハナショウブが咲く。鉢の中に白い花の穂がたれ下がるような花をつけた植物—ハンゲショウと思うが、まだ葉に白い所は見られない。

浮き橋の北の小さい水面に餌を求めて大きな口をあけた多数のコイの中に、同じ方向を向いた1匹のカメ。餌ねらい？

小さな水面北の陸地にヘラオオバコ。紅い実のアカマンマの巨大版の植物は何？

タンポポクが咲く。一帯に先端が刈られたイネ科の植物の葉が20~30cmに伸びる。ユウゲシヨウ。陸地から池の水面にたれ下がる、ピンクの丸い小さな花をつけた植物は何？

コシアキトンボが飛んで来て浮き橋の上を橋に沿って東へ行く。

戻って、ハンノキの下から

オオイヌノフグリ(タチイヌノフグリ?)。先月より、ずっと多くなったヘラオオバコが風に揺れる。小さい黄花のカタバミ。ドクダミ。ユウゲシヨウ。ヘビイチゴ。ヤブガラシの葉。イネ科の植物。黒っぽいシジミチヨウが飛ぶ。ヒルガオ。

ガンジンの像の北に、丈15~20cmの白い花は何？(右写真)

目の前をカルガモ2羽が氷から上がって来る。嘴を背の方に入れて羽づくろい。ゲゲゲと鳴いて近寄って来る。餌ねだり？同じような声を出して応じてみるが、向こうに行ってしまった。1羽は少し大きくて色がはっきりしている。嘴も黄色が鮮やかで、身体の後ろの方の青い羽も鮮やか。もう1羽は、少し身体が小さく、身体全体の色がぼんやり薄い色。Saさんが以前言っていたが、たぶん前者が雄、後者が雌。



ソバの仲間(ソバ? ジャクチリソバ(宿根ソバ)? 一葉の形が正三角形のはずだが写真は細長い) 解説: 潔

ガンジン像とトリモニュメントの間の、池の中の鉢にハンゲショウの白い花がみごと。

トリモニュメント下から南にシロツメクサが花盛り。ちょうど花飾りを作るのに良い咲き具合。シロツメクサの東に黄色の小さい花。何？

トリモニュメントの南の桜2本の下に例の丸い謎の葉が広がる。

石垣のところにクチナシの花。終わりらしく花は茶色に変化。

丈10cm位の濃いピンクの花。スマホで写真を撮って検索。ネジバナと出るが、信じ難い。あとで、もっと伸びているネジバナを見ると、検索は正しかった！

ヒメジョオン。丈5cm位のアメリカフウロ？ピンクのラッパ状の花に大きい葉のカタバミ。

タチアオイは丈が伸び2m以上有る。薄いピンク、ピンク、濃いピンクの花のタチアオイが50本以上有る。



ネジバナ 左の1本が通常の螺旋形の花序 中央は、花序の複数の花が接近して一つの花のように見えている  
解説:潔

## 集合地

ムクドリ、スズメが地を歩く。

チチコグサモドキ、ムギクサーウィキペディアで詳細を読むが、現物を見て読まない、理解は無理！カンナは100cm丈。菊の葉も100cm。その中にピンクの花で中心部がさらに濃いカタバミが有る。キツネノボタン、黄色い5弁の花、葉は三つ葉の様。実はコンペイトウ型になるというか、ツンツンとんがったボンボンみたい。ワルナスビ、花が大きく、満開。

## 音楽堂方向へ

音楽堂から池に水が多量に流れ込んでいる。蓮池は蓮が全面を覆う。丈は岸近くで水面から1m位か？岸の高さと同じか10cm位上まで伸びている。茶色の枯れた葉柄群は全く見られず、ずっと向こう、池の北側にアシ群、手前に蓮葉群が立つという二層に変わった。

音楽堂の北側の蓮の葉の中にたま〜に、蕾が見られる。見つかる嬉しいという程度の数。中に大きい蕾もあるが、咲くのは1週間後、とKoさん。そのあともポツンポツンと蕾がみつかる。

アオカモジグサ、ネズミムギの仲間、と。これも現物を見ながら解説を読まないと！

シオカラトンボが飛ぶ。

カイツブリ子ども2羽。鳴き声が響き、蓮の葉柄のすき間から泳ぐ姿が見える。親に餌をせがんでいるのか、鳴きながら同じ方向に行く。

エノコログサ。ユウゲショウ。マメグンバイナズナ。ノゲンは花と実が付く。池縁にカジノキ。マメグンバイナズナ、花は白、葉は赤っぽい茶色になっている。栄養不足、とKoさん。白い花は十

字に花びらが付いている。実がグンバイに似ているからこの名が付いた、と。丈は20cm位。

北東方向を見ると、動物園弁天堂入口付近に上が白で下が青の長い塀のようなものが見える。何？

### 浮き橋手前

ネジバナ。白い、とても小さな5弁の花のツメクサ。葉が切った爪に似ているから、とKoさん。クッション等の詰め物に使うシロツメクサとは別物。

### 下町風俗資料館近く

エノキに黒い小粒の実がつく。鳥も人間も実を食べられるって！

白い小さなシジミチョウが下草に止まっている。シジウカラの鳴き声が響く。青いツユクサが一輪、植え込みの中に咲く。ドクダミも花を咲かせている。ドクダミの白い花びらに見える物は本当は苞(ほう)で、ガクの外側にできる。真中の黄色い細長い物についている粒々の一つ一つが花で、オシベとメシベだけの花、と、Koさん。(苞はミズバショウも同じ、と)

### 下町風俗資料館から弁天堂入口方向へ

水面をコシアキトンボが飛ぶ。柳の木にシジウカラ発見。

黄色い花はオニタビラコ、と。葉はタンポポに似る。普通のタビラコは？とMiさん。普通の田平子は春の七草のひとつで、「仏の座」のこと。コオニタビラコ(小鬼田平子)は畑で茎が斜めにでるとHaさん。タビラコとコオニタビラコは同じ物を言い、オニタビラコに対して小さいタビラコとしてコオニタビラコ(キク科ヤブタビラコ属)の名でも呼ばれるようだ。

花の部分が長く伸びたヘラオオバコ。葉がヘラの形をしているから、と、Koさん。ヘラオオバコの花が咲く時は糸のように細いもので支えられた白い花が茶色の穂の下の方から咲き始め、だんだんと上がって行くのだが、穂の部分が3-4cmにも伸びて咲き終わったところは濃い茶色に変わっている。皆で花がこんなに長くなるんだ！とビックリ。

アオサギが北から南へ飛んで蓮の中へ。中に入ると姿は全く見えない。もう1羽、南へくると回って白いオシッコ？を落としながら北へ行き、少し南に向かって蓮の中へ。オシッコをしなから飛ぶのは初めて見た。

ウミネコか？北から南へ飛ぶ。カワウが東へ飛ぶ。

動物園弁天堂入口手前の駅伝の碑の南に、キクモ(菊桃)とタイリョウザクラ(大漁桜)の木が新しく植えられている。今、世間では色々な桜が新しく植えられているが、長い期間、色彩やかな桜が咲き続ける千鳥ヶ淵や上野公園を想像すると、ゾッとする。

野外音楽堂から見た時の青と白のへいは公園外の車道側には無い。皆で、へいのつなぎ目のすき間から中をのぞく。地面から水がしみ出している所もあ



蓮池東園路のへい (囲い)

る。何の困いなのか説明版は無い。(後日、問い合わせ、旧区民館解体と園地拡張工事と知る)

### 大藤棚入口

サンゴ樹2本、白い花が咲く。大藤棚南東角のワルナスビは花が満開、花が大きい。ジュズダマも花穂が大きくて満開、葉丈は50~70cm。ユッカは花が終わり、茎が濃茶色に枯れた棒になっている。小さめの黄色の蝶が蓮の上を飛ぶ。

ヘラバヒメジョオン(笹葉姫女苑)。根生葉がヒメジョオンはさじ形で長い葉柄を持っているのに比べ、ヘラバヒメジョオンは葉身から葉柄への移行が不明確でヘラ形葉に鋸歯が無いとネットに書いてある。

柿は2cm位の大きさの実が付く。

大藤棚出口の西の木にムクドリの親子。子にうながされて親は東へ飛ぶ。スズメが1羽来て子のすぐそばにとまり、ムクドリの親が餌を子どもに与えて飛んで行くと、スズメはすぐ飛び去る。親が持ってきた餌をねらっていたのか？ムクドリの子は少し小さくて、頭はまだグレー、嘴は細く、黄色も淡い。

弁天堂を西に出て、北側の聖天島の入り口のキンシバイがまだ咲いている。この時、名を思い出せない。Teさんとの会話。「以前、Haさんに教わったのよね。」「そうそう、大きい桜の通りで」で、名は、??どこで誰に教わったのかは覚えているのに名が出て来ない！

キンシバイの下に丈30cm位の濃い青紫の花のアジサイが目立つ。コシアキトンボが動物園池の方へ飛ぶ。

動物園池の縁にヤブマオの仲間。

橋の上から動物園池を見ると、アメンボ1匹が輪を描いている。スズメが水面に立つ棒状の枯蓮の葉柄に身体を横にして降りて行き、下の蓮の葉にのって水を一口飲んで飛び立つ。

橋を出て南へ行く。東側の草地に薄紫のニワゼキショウ。先月よりふえてポツポツと一帯に咲く。ヤマトシジミが飛ぶ。

小花が集まって毛虫みたいに太くて頑丈そうな花(?)を持つスズメノヒエ(あとからKoさんからメール、シマスズメノヒエ、と)。カヤツリグサ科(?)の植物もKoさんがメールでミコシガヤと。丈15cm位のヒメジョオンの花が咲いている茎にヘクソカズラの弦が巻いていて一見、不思議花をKoさんが見つける。写真を撮ればよかった！

テラスベンチで、皆で話している時に正面ポート池のピンク色の白鳥ポートの向こうにコサギ発見。すぐ南へ飛ぶ。

昼食中、ポート場事務所の屋根にウミネコ1羽。飛んで、係留しているポート群の一番北に降りる。見るともう1羽居る。2羽は一緒に南へ飛ぶ。ツバメが西へ飛ぶ。



ムクドリの若鳥